



庄原自治振興区だより

第 176 号 令和 3 年 6 月 21 日 発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX

(0824) 72 - 3777



～*～*～ 新区長あいさつ ～*～*～

区民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

引き続き新型コロナウイルス感染対策として、昨年度に続き本年度の通常総会も「書面決議方式」での開催となり、役員改選に於いて勇退された増田区長の後を受けてその重責を担うこととなりました。微力ながら全力で取り組む覚悟ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私達の住んでいる地域は、人口減少・少子高齢化が進む中、福祉・防災など日常生活に直接関わる多くの課題が山積しています。

これらの課題を克服するため、行政や他団体との連携を図りながら、『より安全でより安心して暮らせる協働のまちづくり』に向けて取り組んで参ります。

区民の皆様には一層のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、就任のあいさつと致します。



福田 浩司

～*～*～ 退任のあいさつ ～*～*～

平成 29 年度の通常総会において庄原自治振興区長の重責を託され、この度の役員改選期に退職のご承諾をいただき、退任することとなりました。

思い返せば 2 期 4 年間、役職員をはじめ区民の皆さまには、温かいご支援とご協力をいただき無事重責を果たすことが出来ました。

改めて衷心より感謝し厚くお礼申し上げます。ただ少し残念なのは、2 期目の 2 年間は、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症により、度重なる「緊急事態宣言」で、行動・集会の自粛制約により、企画していた多くの事業を中止せざるを得なかったことです。また、通常総会が 2 年連続で「書面決議」決済という異例の措置となってしまうしました。しかし朗報として、今秋には皆さま念願の、振興センター多目的ホールの新築と、従来施設の改築工事の着工が始まります。コロナ禍と改修工事で、今少し活動に不便が生じるかもしれませんが、新区長さんのもと 11 名の新自治会長を交えて、庄原自治振興区の益々の発展を切に願って退任のあいさつといたします。



増田 敏明

令和 3 年度(第 17 回) 通常総会が終わる！！

今年度の通常総会は、5 月 18 日(火)に庄原ふれあいセンターでの開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年と同様に「書面決議」により文書での議決となりました。

事前に役員会において、令和 2 年度事業報告をはじめ 4 議案の検討を行い、73 名の代議員へ送付し、提案とさせていただきます審議をお願いしました。その結果、5 議案とも多数の賛成により承認となりました。書面決議の中で、代議員の皆様から 6 件のご意見を頂きましたので、6 月理事会終了後、代議員の皆様には書面決議結果を送付させていただきます。

☆・任期満了に伴い、令和 3・4 年度の理事・監事顧問が次の通り承認されました。(○印は新任)

	役 職 名	氏 名	自治会名	役 職 名	氏 名	自治会名
理 事	区 長	○ 福田 浩司	紅 屋	総務理事	○ 松浦 誠	美湯ハイツ
	副 区 長	土居 友樹	大久保東	事業理事	吉田 隆則	裁判所通
	副 区 長	菟原 隆行	新道上	監 事	奥田 虎昭	下本町
	副 区 長	○ 元泉 順行	川手沖	監 事	○ 田村 才三	柳 原
	会 計	光廣 正明	宮 内	顧 問	永井 忠司	宮 内

令和 2 年度 庄原自治振興区 一般会計収支決算書



収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	摘 要
繰 越 金	2,013,947	2,013,947	前年度より繰り越し
区 費	333,000	333,000	自治会区費
振興交付金	10,880,815	10,880,815	自治振興区振興交付金
特別振興交付金	8,885,208	8,885,208	区長・副区長・事務局長・事務職員 2 名
負 担 金	50,000	50,000	庄原地区社会福祉協議会事務負担金
助 成 金	208,000	198,000	共同募金配分金 ・日本赤十字社資配分金
寄 付 金	1,000	0	
雑 収 入	80,030	131,941	貯金利息・雇用保険被保険者負担分・コピー代
収入合計	22,452,000	22,492,911	

支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	摘 要
役 員 手 当	1,240,000	1,240,000	区長・副区長 3 名・理事 3 名・ 監事 2 名
自治会長手当	3,072,000	2,900,300	均等割 14,300×33 自治会 世帯割 1,300×1,868 世帯
事務局費	賃 金 他	7,907,000	7,701,947 職員 3 名の賃金、職員手当、共済費
	旅 費	60,000	40,000 職員・市内活動旅費等
	需 用 費	364,000	232,434 事務消耗品費
	役 務 費	269,000	260,879 複写料金(含保守)・ 郵送料等
	備 品 費	395,000	190,000 綿菓子機購入
事業費	広 報 費	854,000	758,400 「自治振興区だより」の発行費等
	活 動 費	3,450,000	2,126,419 自治会活動・活性促進・各事業・総務企画担当費・歴史文化継承事業等
	研 修 費	634,000	0 役員研修及び先進地視察研修交通費(中止)
	会 議 費	152,000	12,587 総会・各会議費用等
	委 託 料	72,000	71,580 ホームページ保守委託料等
	報 償 費 他	332,000	139,632 需用費 134,632 賃借料 5,000
交負担金	自治会交付金	2,759,000	2,627,000 均等割 23,000×33 自治会 世帯割 1,000×1,868 世帯
	負 担 金	70,000	20,000 自治振興区連絡協議会会費
慶 弔 費	50,000	20,000	役員等の慶弔費等
繰 り 出 し 金	249,000	249,000	特別会計 自主防災会計へ繰り出し
予 備 費	523,000	0	
支出合計	22,452,000	18,590,178	

令和 2 年度 庄原自治振興区 各種特別会計収支決算書



事 業 名	収 入	支 出
庄原自治振興センター指定管理事業収支決算	712,256 円	381,527 円
庄原市生涯学習事業収支決算	1,408,526 円	1,243,853 円
庄原自治振興区自主防災本部会計収支決算	534,233 円	222,500 円





安全で安心して暮らせる地域社会の構築！！

重点事業について

- ①高齢者等の安心サポートの推進
「さりげない見守り活動」「いのちのバトン」「サロン活動」
- ②地域に根ざした自主防災本部と各自治会自主防災組織の取組み
「自治会の防災マップ作成」「避難所の設置・運営」「避難訓練」
- ③地域の歴史文化を継承する取組み
「歴史資料集を活用した研修会」「小学校・自治会での継承活動」
- ④活動拠点としての自治振興センター建設・改修の取組み
「利用しやすい施設の早期整備の要望」



見守りネットワーク



いのちのバトン

年間の主催事業は、4つの行事

- ・第14回 区民グラウンド・ゴルフ大会(6月6日)中止決定
- ・第15回 区民ウォーキングの集い(10月16日(土))
- ・第14回 自治振興区活動報告及び作品展(11月7日(日))
- ・R3年度 のろし祭り(11月23日(火・祝))

生涯学習活動の推進

- ・生涯学習活動への支援
- ・各種教室の開催
- ・人権教育事業の推進

環境美化活動の推進

- ・「ゴミのポイ捨て防止」「防犯・防災」の広報活動
- ・環境美化・ゴミのポイ捨て防止パトロール
- ・環境衛生の推進



防災マップ作成「まち歩き」



子ども将棋教室

防犯・防災対策事業

- ・子どもの安全を守る運動
- ・防犯・防災の研修会開催

健康づくりの推進



シルバーリハビリ体操庄原教室



避難所設置訓練

自治振興区活動の情報発信

- ・「自治振興区だより」の発行
- ・「ホームページ」の内容充実

地産地消運動の促進

- ・地元産品の情報提供と販売促進
- ・「トラック市場」の開催



まちなか歴史散策



のろしりレー



上野池クリーン作戦

社会福祉活動の促進

- ・庄原地区敬老祝賀会の開催
- ・高齢者親善競技大会への協力
- ・共同募金他、募金活動への協力

定住促進事業の推進

- ・定住促進に向けた情報収集と研修会の実施
- ・定住に繋げる「まちなかの活性化」に向けた取り組み
- ・行政・関係機関団体との連携

令和3年度 庄原自治振興区 一般会計収支予算書



収入の部

(単位：円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	摘 要
繰 越 金	2,013,947	3,902,733	前年度より繰り越し
区 費	333,000	333,000	自治会区費 (33 自治会)
振興交付金	10,880,815	11,424,855	自治振興区振興交付金
特別振興交付金	8,885,208	9,017,580	区長・副区長・事務局長・事務職員 2 名
自治振興区活動 促進補助金	0	2,882,000	花と緑のまちづくり事業費
花と緑のまちづ くり事業協賛金	0	621,000	花と緑のまちづくり事業費
負 担 金	50,000	50,000	庄原地区社会福祉協議会事務負担金
助 成 金	208,000	197,000	共同募金配分金 ・日本赤十字社資配分金
寄 付 金	1,000	1,000	
雑 収 入	80,030	70,832	貯金利息・雇用保険被保険者負担分・コピー代
収入合計	22,452,000	28,500,000	

支出の部

(単位：円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	摘 要
役 員 手 当	1,240,000	1,240,000	区長・副区長 3 名・理事 3 名・ 監事 2 名
自治会長手当	3,072,000	2,942,000	均等割 14,300×33 自治会 世帯割 1,300×1,900 世帯
事務局費	賃 金 他	7,907,000	職員 3 名の賃金、 職員手当、 共済費
	旅 費	60,000	職員・市内活動旅費等
	需 用 費	364,000	事務消耗品費・事務所移転関係経費等
	役 務 費	269,000	複写料金(含保守) ・ 郵送料等
	備 品 費	395,000	複合印刷機・パソコン機器・事務所移転関係備品等
事業費	広 報 費	854,000	「自治振興区だより」の発行費等
	活 動 費	3,450,000	自治会活動・活性促進・各事業・総務企画担当費・花と緑のまちづくり事業等
	研 修 費	634,000	役員研修及び先進地視察研修交通費等
	会 議 費	152,000	総会・各会議費用等
	委 託 料	72,000	ホームページ保守委託料等
	報 償 費 他	332,000	報償費 30,000 需用費 324,000 賃借料 20,000
交負担金	自治会交付金	2,759,000	均等割 23,000×33 自治会 世帯割 1,000×1,900 世帯
	負 担 金	70,000	自治振興区連絡協議会会費・のろしプロジェクト事業等
慶 弔 費	50,000	60,000	役員等の慶弔費等
繰 り 出 し 金	249,000	371,000	特別会計 自主防災会計へ繰り出し
予 備 費	523,000	1,266,000	
支出合計	22,452,000	28,500,000	

令和3年度 庄原自治振興区 各種特別会計収支予算書



事 業 名	前年度予算額	本年度予算額
庄原自治振興センター指定管理事業収支予算	730,000 円	553,000 円
庄原市生涯学習事業収支予算	2,254,000 円	2,086,000 円
庄原自治振興区自主防災本部会計収支予算	515,000 円	1,353,000 円





～ いにしえの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.14



シリーズふるさと歴史文化散策 近世3-前編

《時代劇を10倍楽しくする豆知識：江戸時代の庄原商人と俳句人》

山間地庄原は、古くから日用雑貨は広島方面、鮮魚・海産物は山陰・尾道方面を主な仕入れ地としてきました。そして江戸時代の庄原は、広島～新見・米子に向かう備中・伯耆(ほうき)街道と尾道～出雲に向かう出雲(いずも)街道が交わる交通の要所・宿場町として、また近くに西城川を利用した舟運の発着地を有する商業地として発展しました。

しかも、代官所等の役所が置かれなかったことから、地元有力商人が年寄・庄屋としてその役目をおぎないました。一方、地方人の出入りが多く、他地方の文化を吸収することへの抵抗の少ない環境に恵まれ、実学重要性の自覚や功利的精神を追求する商魂は、保守的な田舎にあって儒学にとらわれない進取の気風を育てました《マチとムラ》

江戸時代前期の学者新井白石(1657～1725)によると、町(マチ)の語源は間道(マミチ)だそうで、田を切るアゼのことです。町という字に田という字が含まれている事からもうなずけます。

古代の土地区画制度である条里制の村では、マチで仕切った田地の区画を町(ちょう)といい、同じく土地整備計画である、条(南北列)坊(東西列)制では都市の街路がマチで、その仕切られた区画が町(ちょう)となります。町には商店が並びます。すると村でも商店が並ぶ地区をマチと呼ぶようになります。そして、そのマチが盛んになると村全体をマチと呼ぶようになります。

天保12(1841)年頃の庄原町中心街について『庄原雑録』には「町の長さ四丁但町幅上市にて三間歩中広所(広い所)5間下市にて三間八歩」と記されています。

(注：1丁=108m、1間=1.82m、1歩=0.3cm)

また、『庄原市史』によると、安政4(1587)年9月の時点でこの地域に7軒の造り酒屋(鑑札保有者)のあったことがわかります。なぜこの狭い地域に造り酒屋が集中したかは、定かではありませんが酒造業者に聞くと、酒造りに適した水というのは、硬水というミネラル成分に富み、鉄分がほとんどない水で、この地区には酒造りに適した“中硬水”があるそうです。ちなみに中本町では、昭和45年まで「白濁(はくとう)」と言う銘柄の清酒が造られていました。

造り酒屋には、これに付随して米屋・イイダ(桶屋・樽屋・竹屋)などの諸職人その他が集まり、これらの人が加わり当時の町は賑わった事でしょう。商人たちの卓越した実力は、宝蔵寺(天野屋・胡物屋)、西明寺(大坂屋)、雲竜寺(塗屋)、直乗庵(棧敷屋)といった寺院等が、商人個々の財力のみで移築・建立されている事からもうなずけます。

そういった背景をもとに、当時の庄原商人は文化を育みました。宝蔵寺本堂の前に“旅人と我が名呼ばれん初しぐれ”と刻まれた小さな句碑の芭蕉塚があります。松尾芭蕉は“俳諧の連歌”の発句、五・七・五を芸術的に高め俳句として大成しました。(次号に芭蕉塚の写真を掲載します) この俳句は芭蕉の句で「文政6(1823)年眠亭社建立」と刻まれています。これは、蕉風門の句会が庄原で定期的に催されていた名残です。

元は、店滝(新道上自治会)にあった「風蘭荘」庭の片隅に置かれていましたが、風蘭荘が取り壊される際に、現在地(宝蔵寺)に移設されたもので、広島を中心とした当時の芸備俳壇をみますと、庄原の俳句人として“桜律”の名前があります。彼は板倉家12代で文化12年に生まれ、明治12年65歳で没しています。また奉納俳諧として、弘化3(1846)年、小童(ひち)須佐神社(現甲奴町)の俳額には、庄原の人々が確認できます。

今回は、「時代劇を10倍楽しくする豆知識：俳人越智古声」を紹介します。お楽しみに…。

《文・構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会》

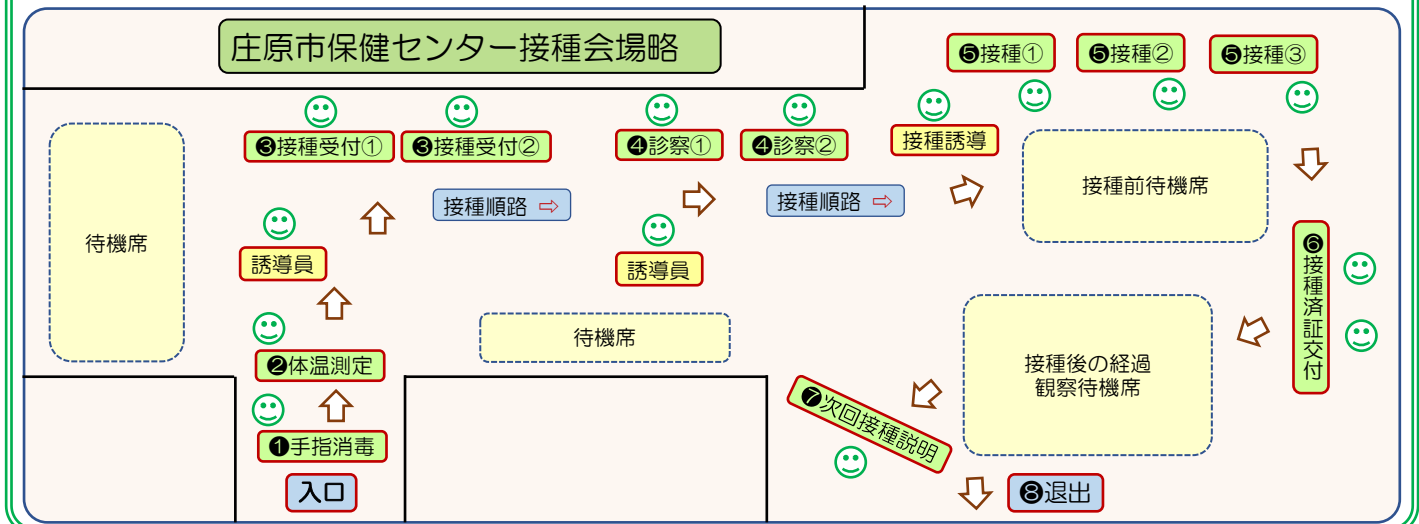


天野屋(伊藤家)の家胡子(商売の神様)

庄原市の新型コロナワクチン接種状況について

— 庄原自治振興区 —

◆4月22日(木)から65歳以上の高齢者を対象とした、新型コロナウィルスワクチン接種は、事前予約済みの人を対象に30分ごとに入場・受付が行われていました。会場は、3密対策が施されており、入場から接種、経過観察を経て退出までに要した時間は、30～40分程度でスムーズに実施されていました。◆これから接種に行かれる方や、2回目の接種をされる方は、予約表に記入された時刻を守って来場すると共に、マスク・接種券・記入済みの予診票・本人確認書類(免許証・健康保険証など)を忘れないようにお願いします。◆今回予約が出来なかった方は、次回のお知らせが送られてきたら、早めの予約を心掛けましょう。



自治会活動紹介

③ 大黒上自治会

自治会長 岡田光晴



- ①活動拠点・・・新町会館と賃貸契約を交わして使用
- ②自治会戸数・・・60戸
- ③役員：自治会長、副会長、会計、監事2名、衛生部長、加ッ部長、体育委員4名、班長4名
- ④自治会年会費・・・4,000円(義援金会計が不足時は1,000円を増額する)
- ⑤義援金特別会費・・・1,000円(別会計2年分位を限度に積み立て必要時に拠出、都度集金しない)
- ⑥主催行事：花見の会・G・ゴルフ大会・納涼祭(子ども会と共催)・とんど(子ども会と共催)
- ⑦主催事業：毎月第2月曜日1捨てパトロール(南4自治会共催)、春・秋クリスマスパーティ(子ども会と共催)
大黒サロン(毎月第4木曜日に開催)、人権学習会(南4自治会共催)
- ⑧区主催行事：区民G・ゴルフ大会・区民ウォーキング・のろし祭り・活動報告・作品展などに参加
- ⑨自治会内活動補助金：大黒加ッ3万円(今期より6⇒3万円に減額)、みずほ子ども会3万円
- ⑩大黒上自主防災会：防火訓練・・・年1回(庄原消防署に講習会を依頼して実施)
- ⑪その他・・・庄原地区体協ソフトバレー・G・ゴルフ大会、庄原地区社協高齢者G・ゴルフ大会

7月の振興区主催行事予定

13日(火)	理事総務企画室合同会議	13:30～
17日(土)	見ぬ友と心結ぶのろしレレ	10:00～
20日(火)	環境美化防犯パトロール	9:00～
(本通、下本町、新道上・新道下の各自治会長)		
27日(火)	役員会	13:30～
毎週1回	青少協防犯パトロール	16:30～



編集後記

◆令和3年度の本区通常総会は、新型コロナ禍でしたが、今期は役員改選期にあたり、新区長のほか、11名が新自治会長となったため、感染対策として市民会館大ホールを使用、出席者の間隔を確保して開催する予定でしたが、庄原市で発生したクラスターにより、残念ながら急遽書面決議となりました。◆保健センターでは、予約済み高齢者のワクチン接種が始まり、指定日に1回目の接種を行いました。接種会場は十分な感染対策が行われ、何の問題もなく終わりました。早く全員に行きわたれば、と願うばかりです♪

岡田 記